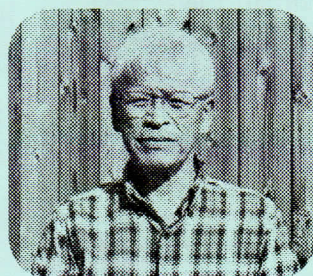
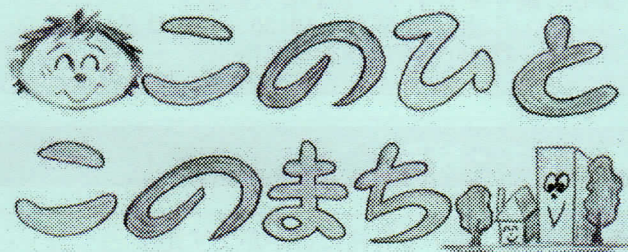
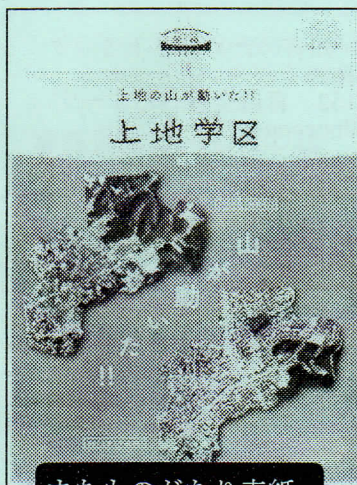


# よりなん



「岡崎まちものがたり」  
に関わりをもたれた、上  
地学区作成委員会代  
表の夏目安孝様にお  
話を伺いました。

## 「岡崎まちものがたり」



まちものがたり表紙

岡崎市市制100周年を記念して、各種事業が展開されましたが、そのひとつとして47小学校区それぞれの学区まちものがたりをひとつにまとめて編集する「岡崎まちものがたり」が、各学区総代会が中心になって作成されました。

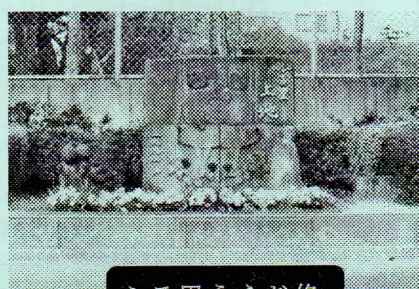
各学区のページ数は8ページと決められましたが、歴史のある学区からは「8ページでは足りない」などの声がありました。しかし学区創設30年余の上地学区では、8ページを埋めることができるだろうか心配になりました。

「学区まちものがたり」は、①表紙、②まちのなりたち（学区の歴史・原則・市制施行以降の出来事）、③まちものがたりマップ（学区の名所旧跡など）、④特集・町のたからもの（学区の自慢風景・宝物など）、⑤編集後記・未来の学区住民に向けたメッセージで作成するという骨格が市で決定されました。

学区に戻り作成について総代会で検討を重ね、作成委員は、学区の幅広い方々に参画していただくこととし、学区社会教育委員会の常任委員の方を中心に23名で作成委員会をスタートさせました。

土地区画整理事業で、上地の山を切り拓いて宅地化された学区には、名所旧跡も歴史もなく、どう作成していけばよいのか手探りの状態に陥りました。

上地小学校が開校して5年を経過した頃から、土地区画整理事業で造成された住宅地へ、全国各地から移り住んだ方々に、上地を「第二のふるさと」としていただくために元校長嶋田稔さん以下全教職員が、学区の皆さんと協力して、校務の傍ら学区の文化や歴史を調べ、「ふるさと上地」としてまとめられていました。



ふる里うえじ像

「上地学区まちものがたり」は、これを活用することに決め、「ふるさと上地」を学区民に知ってもらうため、ホームページを作成するとともに、ホームページと回覧で掲載内容の提案を募集しました。

マップには、「ふるさと上地」にある上地八景(新上地八景)を盛り込み、「まちのたからもの」は、「ふるさと上地」に掲載された元校長嶋田稔さんの創作童話とし、作成委員の投票で「うなり石」と「雪の上の小さな足あと」の二話に決定しました。ここに、他の学区にはない上地らしさが出ていると思います。

こうして完成した「上地学区まちものがたり」は、市で印刷され全戸配布がされます。ぜひ、皆さん見ていただき「大谷公園の展望台」「上地八景(新上地八景)」「創作童話」の現地などを訪ねていただき、「ふるさと上地」を再確認してみませんか。

ホームページ（「ふるさと上地」で検索）に「まちものがたり」を掲載していますのでご覧ください。

